

関孝和三百年祭記念事業だより I

真島 秀行

数学通信第 12 号第 3 号（2007 年 11 月）に今年度の関孝和三百年祭記念事業に先駆けて、関孝和先生三百年忌法要とそれに続く会合が行われることをご案内させていただきました。そのご報告をさせていただきます。また、年も改まり既に関孝和三百年祭記念事業が始まっておりますのでそれのご案内もさせていただきます。

1. 関孝和先生三百年忌法要

旧暦と新暦を付き合わせて換算しますと、西暦 2007 年 12 月 5 日（水）は関孝和先生がなくなられた宝永 8 年 10 月 24 日（西暦 1708 年 12 月 5 日）から数えてちょうど三百年忌にあたりますので、数日繰上げ 12 月 2 日（日）にお墓のある東京都新宿区弁天町の浄輪寺において法要を営みました。それぞれの方に志があり、参列していただける方にはできるだけお参りしていただきたいという考えから、浄輪寺の境内、本殿はともに狭いのですが、人数制限をすることなく、ご位牌、旧墓、現墓をお参りする一方通行路を指定して、参列者の方々にご協力いただいて、法要を行うよう計画いたしました。

実際、本殿に上がられお参りされた方は当方の記録では 82 名、窓越しにおまいりされた方だけの方も数十名いらしたとのことで、百名程度の方々が、この日、法要に参列されたこととなります。10 時半頃から受付を始め、法要開始の 11 時直前には、本殿には入りきれない数の人々がご参集で、方針は間違っていなかったと思いますが、開始後はそれほど増えず、次から次に流れていただいたのですが、もう少しその場においていただいてもよかったのかもしれない、と反省する面もありました。

なお、浄輪寺のご住職嶋田教豊上人の他、嶋田教要上人、寺井俊英上人がご道士を務められました。

引き出物としましては、予告しておりました「関孝和三百年祭記念 浄輪寺調査資料集」の他に、午後の会合資料、新宿歴史博物館、東京理科大学近代科学史料館での展示予告チラシを合わせて特製封筒に入れたものを用意しました。残部については、東京理科大学近代科学史料館において有料で頒布しておりますのでご利用ください。

法要の後には、午後の会合のために、浄輪寺から東京理科大学神楽坂キャンパスへの行き方として、「関孝和先生の兄上にあたる内山七兵衛永貞の貞享・元禄時代の家があったことが確実な場所（大久保通りに面している）現牛込警察署の裏手側の部分を経由して歩いておよそ 45 分で行くことができます」とご案内しておりましたので数十名の方々は実際にその周辺を歩いて行かれました。

2. 関孝和先生三百年忌を機会に日本の数学力を考える会

表記のように題し 14 時から 16 時半過ぎまで会合をもち 120 名ほどが参加しました。

第一部（14：00-14：40）

共通図録「関孝和の人と業績」および「浄輪寺調査資料」の紹介等

—関孝和先生に関する定説から最新研究資料まで—

『共通図録』(佐藤健一監修)の紹介・・・・・・・・・・佐藤健一
『浄輪寺調査資料集』(小林, 佐藤, 真島, 山司編集)の紹介・・・・・・・・小林龍彦
関新助孝和の旧居と内山七兵衛永貞の旧居について・・・・・・・・真島秀行

第二部 (14:40-16:00)

「日本の数学の現状および将来について」

一賛同学協会の代表等が日本の数学の研究あるいは教育の現状および将来について語る一

上野健爾 (京都大学大学院理学研究科, 日本数学協会会長)

小寺 裕 (東大寺学園, 日本数学史学会運営委員長)

澤田利夫 (東京理科大学数学教育研究所, 元日本数学教育学会会長)

長岡亮介 (放送大学, 数学教育学会理事) (残念ながら所要のため当日欠席)

浪川幸彦 (名古屋大学大学院多元数理科学研究科, 中央教育委員会初等中等教育分科会教育課程部会算数・数学専門部会委員, 数理科学リテラシー委員会委員長)

野崎昭弘 (サイバー大学 IT 総合学部, 数学教育協議会委員長)

藤田 宏 (東海大学教育開発研究所, 元日本応用数理学会会長, 数学教育学会会長)

第三部 関孝和三百年祭記念事業の計画, 予定報告等

上野健爾・・・・・・・・・・日本数学協会関孝和没後 300 年記念懸賞問題の紹介

増田和彦 (東京理科大学近代科学史料館)・・・・・・・・新宿歴史博物館における展示会,
東京理科大学近代科学史料館における展示会および関連事業の準備状況等の報告,

山司勝紀 (東京書籍)・・・・・・・・東京都江戸東京博物館における算額コンクールと
ワークショップについての準備状況等の報告

小寺 裕・・・・・・・・なにわの海の時空館における展示会および関連事業の準備状況等の報告

安富有恒・・・・・・・・一関市博物館における展示会および関連事業の準備状況等の報告

飯高茂 (学習院大学理学部), 小林龍彦, 真島秀行・・・・国立科学博物館における「日本
の科学者技術者展シリーズ」としての「日本の数学者展」(仮称)の準備状況の報告

小松彦三郎・・・・・・・・関孝和三百年祭記念数学史国際研究集会準備状況の報告

3. 新宿歴史博物館における展示会等のご案内

関孝和三百年祭記念事業の初めのは、1月19日から3月2日まで行われる新宿歴史博物館特別展「関孝和と和算の世界」です。1月18日には内覧会があり、新宿区長、新宿区生涯学習財団理事長をはじめとする関係者と記念事業実行委員会関係者が参加し、開催式典も行われました。そこで二百五十年祭法要と牛込公会堂で開催された講演会の模様を録画した映像が初めて公開映写されました。会期中は来館者が見られるようになっています。

次号が発行されるまでには、東京理科大学近代史料館における関孝和三百年祭記念展示『関孝和と和算の世界』(第一期は3月6日から4月10日迄)、江戸東京博物館における算額コンクール(3月9日)およびワークショップ(3月11日から16日)、なにわの海の時空館における展示会も行われます。それぞれのホームページをご参照ください。

(まじまひでゆき／お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科 自然・応用科学系)